

災害予知装置に関する
調査表記入マニュアル

[E120] 災害予知装置基本

この調査表は、災害予知装置に関する基本的データを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

- (1) データは次の単位で作成する。
 - 路線毎とする。
 - 災害予知装置設置箇所内における装置種別毎とする。
- (2) 災害予知装置に関する写真・図面類については「E121災害予知装置図面類」にて作成する。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2
- (J) 整理番号3
- (N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、
§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 名称

該当する災害予知装置施設の名称を、10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字)で記入する。名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入する。

(Q) 百米標 (km)

該当する災害予知装置の設置位置の距離標 (百米標) を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(R) 距離 (m)

該当する災害予知装置の設置位置の距離標 (百米標) からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(U) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。(年は和暦を記入)

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(記入例) 昭和61年 ——> $\frac{361}{\uparrow}$
年号コード (3 : 昭和)

(V) 施設改修年度

施設を改修した年度を記入する。(年は和暦を記入)

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は「*」を記入する。

(記入例) 平成5年 ——> $\frac{405}{\uparrow}$
年号コード (4 : 平成)

(W) 完成年月

該当する災害予知装置が完成した年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1983年 8月 ——> 198308

(X) 上り下り区分C

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上り線	1
下り線	2

(Z) 所在地

災害予知装置の設置箇所の所在地 (字番地まで) について、30文字以内の日本語で記入する。

(AA) 装置種別C : ◆

装置種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
落石予知装置	1 1
雪崩予知装置	1 2
地滑り予知装置	1 3
地震計測装置	1 4
そ の 他	9 9

(AC) 設置箇所C

設置箇所について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
切土部のり面	1 1
盛土部のり面	1 2
路端 (道路端)	1 3
歩 道	1 4
車道部	1 5
中央帯 (中央分離帯)	1 6
環境施設帯	1 7
橋梁上	1 8
トンネル内	1 9
その他	9 9

(AE) 設置のべ数 : ◆

災害予知装置の設置のべ数を記入する。

(AF) のり面勾配

設置箇所が切土・盛土部の場合、そののり面勾配を小数点以下1位まで記入する。

(記入例) $n = 1 : 1.5$ \longrightarrow 1.5

(AG) 型式

災害予知装置の型式 (メーカー及び型番) について、20文字以内のカタカナ、英数字で記入する。

(AH) データ転送先

データの転送先を、15文字以内の日本語で記入する。

(AI) 通信回線区分C : ◆

通信回線について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
建設省専用	1
N T T	2
そ の 他	9

(AK) 電力契約種別C

契約種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
定額電灯	1
従量電灯 A	2
B	3
C	4
公衆街路灯 A	5
B	6
C	7
業務用電力	8
融雪電力	A
低圧電力	B
その他	9

注1)

注2)

注1) 関西、中国及び四国電力株式会社では従量電灯のAとBを合せてAとし、沖縄電力株式会社では従量電灯のA、BおよびCの区分はない。

注2) 北海道、東北、東京、北陸、中部、九州及び沖縄電力株式会社では公衆街路灯のBとCを合せてBとする。

(AM) 電力契約番号

電力の契約番号を、20文字以内の数字で記入する。

(AO) 電力支払営業所名

使用電力料を支払っている電力会社名及び営業所名を、15文字以内の日本語で記入する。

(AP) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(AQ) 市区町村C : ◆

該当する区間の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ———> コード：08401
(検査数字は含まない)

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E120：災害予知装置（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字			○
百米標	999.9	k m	○	○
距離	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
完成年月	199901	西暦		○
上り下り区分C	半角1文字			○
所在地	全角30文字			○
装置種別C	半角2文字		○	○
設置箇所C	半角2文字			○
設置のべ数	99		○	○
のり面勾配	9.9			○
型式	文字40文字			○
データ転送先	全角15文字			○
通信回線区分C	半角1文字		○	○
電力契約種別C	半角1文字			○
電力契約番号	半角20文字			○
電力支払営業所名	全角15文字			○
備考	全角50文字			○
市区町村C	半角5文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照